

## 総合支所の抱える課題及びその対応経過（地域課題）

●議案件数 26件（残21件）

令和8年4月1日現在

提案 総合支所	優先度	提出 件数	進捗状況									
			① 未検討		② 対応 検討中		③ 対策 協議中		④ 対策 実施中		⑤ 実施済 (完了)	
			今回	前回	今回	前回	今回	前回	今回	前回	今回	前回
河北	高 (1年以内)	1							1	1		
	中 (2～3年)	7				7	6		1	1		
	低 (5年以内)	1			1	1						
	計	9			1	8	6		2	2		
雄勝	高 (1年以内)	2							2	2		
	中 (2～3年)	3			1	1			2	2		
	低 (5年以内)											
	計	5			1	1			4	4		
河南	高 (1年以内)	1							1	1		
	中 (2～3年)											
	低 (5年以内)											
	計	1							1	1		
桃生	高 (1年以内)											
	中 (2～3年)	1						1			1	
	低 (5年以内)											
	計	1						1			1	
北上	高 (1年以内)	1						1	1			
	中 (2～3年)	1						1			1	
	低 (5年以内)	2					1	2			1	
	計	4					1	4	1		2	
牡鹿	高 (1年以内)	2								2	2	
	中 (2～3年)	2			2	2						
	低 (5年以内)	2					2	2				
	計	6			2	2	2	2		2	2	
合計	高 (1年以内)	7						1	5	6	2	
	中 (2～3年)	14			3	10	6	2	3	3	2	
	低 (5年以内)	5			1	1	3	4			1	
	計	26			4	11	9	7	8	9	5	

※前回：R7.9.1現在

●本庁主部局等の内訳合計

- ・総務1件、 企画5件、 市民生活3件、 保健福祉3件、 産業6件、  
建設8件 計26件

●解決に向けて前進した案件又は完了した案件 12事業

- ・市道谷地針岡線等の道路改良（全5件） （河北）
- ・市道の除草作業について （河北）
- ・はねこ踊り保存会 （桃生） ※完了
- ・相川地区林道又は作業道の新設について （北上） ※完了
- ・北上地区住民バスの運行路線変更について （北上） ※完了
- ・県道北上津山線脇の排水路整備について （北上）
- ・公共交通について （牡鹿） ※完了
- ・不快害虫（ヒル等）について （牡鹿） ※完了

●未検討の案件 0事業

総合支所の抱える課題及びその対応経過 (令和8年4月1日現在)

【河北総合支所】

【様式2】

No.	件名	地域課題の概要	課題の種類	対応の優先度	対応状況又は今後の対応方針	対応状況
1	本地第1ため池廃止	既には場整備御事業が完了し、対象受益地がないため、リスク管理上、廃止事業が必要となっている。	1.地域課題	中(2-3年)	<ul style="list-style-type: none"> <li>・農業水路等長寿命化・防災減災事業で調査費の内示(7,175千円：要望：10,000千円)</li> <li>・R6年度に基本設計業務を実施 (本地第1・2ため池は親子ため池のため、連鎖決壊で設計)</li> <li>・R7年度に実施設計業務(本地第1ため池)を実施。 (本地第2ため池は、主要県道を堤体とした特殊なため池のため、工法・協議等に時間を要するため、初めに第1ため池を廃止する。)</li> <li>・R8年度に本地第1ため池の廃止工事を実施予定</li> <li>・本地第2ため池については、引き続き関係機関等と協議を進める予定である。</li> </ul>	4.対策実施中
2	本地第2ため池廃止	本地第1ため池の上流側に位置するため池で本地第1ため池と同じ理由である。 また、県道拡幅工事の際、付け足したと思われるヒューム管φ800mmと県道下は両壁を石積、天井部を石板又はコンクリート形式でかなり古い構造物からなっている。	1.地域課題	低(5年以内)	<ul style="list-style-type: none"> <li>・No.1を参照</li> </ul>	2.対応検討中
3	河北上品山牧場のあり方について	令和5年度については河北上品山牧場の給水施設の故障により牛の預託を中止としている。 令和6年度以降の河北上品山牧場の利活用や畜産振興の支援等について検討する必要がある。	1.地域課題	高(1年以内)	<ul style="list-style-type: none"> <li>・R6.3月に給水施設を修繕し、牛の預託を再開した。</li> <li>・今後の対応(利活用等)について、関係畜産農家へ意向確認を実施。関係団体等を含め引き続き意見交換を実施する。</li> </ul>	4.対策実施中
4	市道谷地針岡線の道路改良	市道谷地針岡線は地元住民を中心に利用される幹線市道であるが、台風等大雨の際、山水と河川からの越水により度々路面が冠水し、救援・救助に必要な緊急車両が通行ができない状況になることから、早急な路面の嵩上げ工事が必要な状況となっている。	1.地域課題	中(2-3年)	<ul style="list-style-type: none"> <li>・本事業については、引き続き建設部道路課と対応を協議する。</li> <li>・道路課と協議を重ねた結果、今後は優先度等を勘案し、計画的に総合計画実施計画に要求することとなった。</li> <li>※上記により本連絡会議の課題から取下げとしたい。</li> </ul>	3.対策協議中

総合支所の抱える課題及びその対応経過 (令和8年4月1日現在)

【河北総合支所】

【様式2】

No.	件名	地域課題の概要	課題の種類	対応の優先度	対応状況又は今後の対応方針	対応状況
5	市道相野田皿貝線の道路改良	市道相野田皿貝線は、一般県道北上河北線と皿貝地区をつなぐ市道で、河北地区の住民のみならず北上地区の住民も利用する幹線道路である。 付近住民や市道を使用する他地区住民から幅員が狭隘で見通しの悪い形状を改良し、車両と歩行者の安全性を向上するよう要望が寄せられている。	1.地域課題	中 (2-3年)	・本事業については、引き続き建設部道路課と対応を協議する。 ・道路課と協議を重ねた結果、今後は優先度等を勘案し、計画的に総合計画実施計画に要求することとなった。 ※上記により本連絡会議の課題から取下げとしたい。	3.対策協議中
6	市道成田相野田線の道路改良	市道成田相野田線は、国道45号と市道相野田皿貝線をつなぐ道路で河北地区の住民のみならず、北上地区の住民も利用する幹線市道である。 また、並行して走る県道北上河北線が通行止めになった際は迂回路としても利用されるが、鋭角で見通しの悪い丁字路交差点を改良し、車両の安全性を向上するよう地元のみならず北上地区住民からも要望が寄せられている。	1.地域課題	中 (2-3年)	・本事業については、引き続き建設部道路課と対応を協議する。 ・道路課と協議を重ねた結果、今後は優先度等を勘案し、計画的に総合計画実施計画に要求することとなった。 ※上記により本連絡会議の課題から取下げとしたい。	3.対策協議中
7	市道八軒馬鞍線の道路改良	市道八軒馬鞍線は、馬鞍川と住宅地の間を並行して走る馬鞍地区住民を中心に利用される幹線道路である。 県道が通行止めになった際は迂回路としても利用されるが、住宅地付近を中心に形状が狭隘で車両の通行にも支障をきたしている。 また、同路線中の皿貝川に架かる馬鞍橋は幅員が3.6mと狭隘で車両の交互通行が困難であり、架設から50年以上も経過していることから架け替えが必要となっている。	1.地域課題	中 (2-3年)	・本事業については、引き続き建設部道路課と対応を協議する。 ・道路課と協議を重ねた結果、今後は優先度等を勘案し、計画的に総合計画実施計画に要求することとなった。 ※上記により本連絡会議の課題から取下げとしたい。	3.対策協議中
8	市道新古川北線の道路改良	市道新古川北線は地元住民が利用する市道で通学路にもなっているが、歩道がなく舗装の劣化も進んでおり、側溝がないため雨水排水もままならない状況となっている。 また、付近に河北保育所も開所したことにより、地元以外の利用者の増加が見込まれる市道であることから、舗装補修と歩道及び側溝の新設が必要な路線となっている。	1.地域課題	中 (2-3年)	・本事業については、引き続き建設部道路課と対応を協議する。 ・道路課と協議を重ねた結果、今後は優先度等を勘案し、計画的に総合計画実施計画に要求することとなった。 ※上記により本連絡会議の課題から取下げとしたい。	3.対策協議中

総合支所の抱える課題及びその対応経過 (令和8年4月1日現在)

【河北総合支所】

【様式2】

No.	件名	地域課題の概要	課題の種類	対応の優先度	対応状況又は今後の対応方針	対応状況
9	市道の除草作業について	市道の除草作業を業務委託で行っているが、河北地区市道延長が約470 kmで時期が集中するため、業者の作業が追い付かず、一部路線を職員が除草作業を行っているため、他の業務に支障が生じている。	1.地域課題	中 (2-3年)	<ul style="list-style-type: none"> <li>・本事業については、引き続き建設部道路課と対応を協議する。</li> <li>・事業者によるボランティア作業（共助）による解決も図られたことがあった。今後は、引き続き道路課と協議していくが、迅速かつ効率的に対応できるよう、草刈り機器の購入等も検討していく。</li> </ul> <p>※本連絡会議の課題から取下げとしたい。</p>	3.対策協議中

総合支所の抱える課題及びその対応経過 (令和8年4月1日現在)

【雄勝総合支所】

【様式2】

No.	件名	地域課題の概要	課題の種類	対応の優先度	対応状況又は今後の対応方針	対応状況
1	旧大須小学校の利活用	<ul style="list-style-type: none"> <li>平成14年4月開校、平成29年3月閉校と建設から20年ほどの比較的新しい施設であるが、RC造3階建の校舎に体育館、プールと規模が大きく、これまで民間利用等の協議経過はあるが、すべて断念という結果になっている。</li> <li>総合支所での検討には限界があり、震災前に行っていた市全体の未利用地利活用の検討を行っていくべきである。</li> <li>校庭については、県防災ヘリ等のヘリポートに指定されているが、後段に記載のとおり、施設整備が課題となっている。</li> </ul>	1.地域課題	中(2-3年)	<ul style="list-style-type: none"> <li>これまでも民間等から興味を持たれたことはあったが、正式な利活用の協議までには至っていない状況である。</li> <li>R5年度は1件の現地見学があった。</li> <li>今後も様々なルートから誘致を行っていくほか、未利用地利活用の検討を行っていく必要がある。</li> <li>地区内でも特に立地条件が悪く、R6年度の間合せ件数は0件である。</li> <li>校庭については、R7.3月にヘリポート工事が完了し、R7年度より運用を開始する。</li> <li>R8.1.30に開催した「第3回雄勝地域まちづくり委員会」において利活用について意見を求めた。 各委員から「水産試験場」や「避難所としての利用」及び「個人利用では規模が大きいため、自衛隊などへ市として協力要請を行っては」などの意見が出された。</li> <li>今後も継続し利活用の検討を行っていく必要がある。</li> </ul>	2.対応検討中
2	住民バスの再編・見直しに係る対応	<ul style="list-style-type: none"> <li>現在進められている河北・雄勝・北上地区住民バスの再編について、今年度から住民説明など具体的な作業に進んでいく予定となっており、運行実績などの実情を踏まえつつ、地区住民の意向に配慮しながら進める必要がある。</li> <li>雄勝-女川間を運行していたミヤコーバス女川線の一部が平成22年3月末で廃止となっているが、代替路線の要望があり、交流人口増の観点からも検討する必要がある。</li> </ul>	1.地域課題	高(1年以内)	<ul style="list-style-type: none"> <li>R6年度から地区外線の全ての便において鹿又駅まで延伸したほか、一部の便については日赤病院経由イオンモール石巻までの延伸を行った。</li> <li>世帯協力金(1世帯500円)については、R6年度から徴収を実施した。</li> <li>雄勝地区と女川町とを結ぶ路線については、待合所や接続ダイヤ等の課題があることから、継続して協議を進めていく。</li> </ul>	4.対策実施中

総合支所の抱える課題及びその対応経過 (令和8年4月1日現在)

【雄勝総合支所】

【様式2】

No.	件名	地域課題の概要	課題の種類	対応の優先度	対応状況又は今後の対応方針	対応状況
3	伝統的工芸品の継承	<ul style="list-style-type: none"> <li>・国の伝統的工芸品「雄勝硯」という名称は、硯組合に属する工人が製作したものを硯組合が審査し、初めて伝統的工芸品と認定されることから硯組合の存続と、属する工人は切り離すことができない関係である。</li> <li>・現在6人いる工人中、実際に製作している工人は4名であるが、主として製作している工人は1人であり、継承者の確保が急務である。</li> <li>・硯組合については、経営状態が厳しく、経営方針の見直しが必要と考えられるが、理事長はじめ役員との認識が甘く、硯の売り上げとクラフト製品の売り上げで運営資金程度は確保できるものの、新たな人材確保等の資金を調達することが難しい。</li> <li>・経営状況に限らず、全体的な見直しが必要であると考えられ、理事長をはじめ組合に対し、既に現状が危機的状況であることを認識してもらわなければならない。</li> </ul>	1.地域課題	高 (1年以内)	<ul style="list-style-type: none"> <li>・R5-6年度に実施した宮城県伝統的工芸品インターンシップ事業における工人体験が非常に好評であったため、今後も積極的に同事業を活用し後継者の確保に努めていく。</li> <li>・県インターンシップ事業における工人体験により1名がR8年度から地域おこし協力隊員として雄勝硯生産販売組合で就業している。</li> <li>・伝統工芸品振興計画を策定したことにより、国の補助採択を受けたことから、R6年度から5年間にわたり補助金を活用し、経営基盤の強化及び事業の拡大に努めていく。</li> <li>・伝統工芸品振興計画の策定3年目であり、事業計画に基づき補助金を活用し、経営基盤の強化及び事業の拡大に努めていく。</li> </ul>	4.対策実施中
4	有害鳥獣の被害	<ul style="list-style-type: none"> <li>・震災以前の雄勝地区の有害鳥獣被害はハクビシンやたぬきの悪戯が多少あった程度である。</li> <li>・震災以降は住民減少に加え、街明かりも無くなり、特にシカの生息が多くなっている。</li> <li>・畑に網や柵が設けられたが、その網絡まりの被害や自動車事故の被害も多く、令和2年度で15件、3年度28件、4年度33件と例年多くの通報が寄せられている。</li> <li>・雄勝地区での対策は、地域住民と猟友会の認識の違いがあることから、銃での駆除はしておらず、罠を仕掛けるだけであり、今後の対策の検討が必要である。</li> </ul>	1.地域課題	中 (2-3年)	<ul style="list-style-type: none"> <li>・地域住民と猟友会の認識の違いもあることから早急な対応は難しいが、有害鳥獣の被害が年々増加していることも踏まえ、銃での駆除も可能となるよう、歩み寄りができるよう調整に努めていく。</li> <li>・猟友会河北支部との調整により、R7.9月より雄勝地区内において銃による鹿の捕獲が再開された。</li> </ul>	4.対策実施中

総合支所の抱える課題及びその対応経過（令和8年4月1日現在）

【雄勝総合支所】

【様式2】

No.	件名	地域課題の概要	課題の種類	対応の優先度	対応状況又は今後の対応方針	対応状況
5	地域で中心となる人材を育成する	公民館の利用が少ない子育て世代や若年層の意見を聴く機会等を検討し実施することにより、地域で中心となり活躍できる人材の育成につなげていく必要がある。	1.地域課題	中（2-3年）	<ul style="list-style-type: none"> <li>・子育てサークルや若者等から意見を聴く機会を設けることとしている。</li> <li>・雄勝小中学校のPTAや子育てサークル等から意見を聴く機会を設けて公民館事業の運営に活かしている。</li> <li>・R6年には『ずっと住みたい地域づくり支援事業（旧地域自治システム）』による住民自治組織「雄勝100年会議」が設立され、地域交流イベント『よるスペ』を開催するなど、若手世代が積極的に地域住民及び同世代との交流に努めている。</li> <li>・今後も地域に住む若者や移住者等の意見も聴きながら、地域で活躍する人材育成につなげていきたい。</li> </ul>	4.対策実施中

総合支所の抱える課題及びその対応経過 (令和8年4月1日現在)

【河南総合支所】

【様式2】

No.	件名	地域課題の概要	課題の種類	対応の優先度	対応状況又は今後の対応方針	対応状況
1	広淵地区の土側溝・市街化調整区域の整備	広淵地区の土側溝が何年も前から改良要望しているが、都市計画税も支払っているにもかかわらず、全然整備してくれないと要望が上がっている。	1.地域課題	高(1年以内)	<ul style="list-style-type: none"> <li>・本庁担当課と調整中</li> <li>・本庁担当課と継続協議</li> <li>・R7総合計画実施計画に事業計上</li> <li>・R7年度から河南地区小規模宅地開発対策事業費として予算計上されたことから、R7年度から対策を実施している。</li> <li>・R7年度については広淵字柏木地区及び広淵字馬場屋敷地区の水路整備を行った。</li> </ul>	4.対策実施中

総合支所の抱える課題及びその対応経過 (令和8年4月1日現在)

【桃生総合支所】

【様式2】

No.	件名	地域課題の概要	課題の種類	対応の優先度	対応状況又は今後の対応方針	対応状況
1	はねこ踊り保存会	同保存会が所有する備品（太鼓・笛・山車等）の保管倉庫設置が保存会より求められており、設置個所及び規模の検討と事業化に向けた取り組みを図る必要がある。	1.地域課題	中（2-3年）	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 保存場所については、R6年度で閉校した「中津山第二小学校」を利活用するなど、今後、桃生地域まちづくり委員会や寺崎はねこ踊り保存会をはじめとする地域の方々と検討していく。</li> <li>・ R7.5.12、7.9、7.25と3度にわたり、寺崎はねこ踊り保存会と教育委員会生涯学習課、桃生地域振興課で旧中津山第二小学校等の利活用に係る協議を実施。</li> <li>・ 結果として「旧中津山第二小学校の教室を倉庫として利用するのは問題ないが、鍵の管理方法及び活動場所から遠いことを考慮すると即決はできないので、今後内部で協議する。」との保存会からの回答を得た。</li> <li>・ R7.8.29 はねこ踊り保存会会長から教育委員会生涯学習課へ正式に「利便性の関係から旧中津山第二小学校は活用しない」との回答があった。</li> </ul>	5.実施済（完了）

総合支所の抱える課題及びその対応経過 (令和8年4月1日現在)

【北上総合支所】

【様式2】

No.	件名	地域課題の概要	課題の種類	対応の優先度	対応状況又は今後の対応方針	対応状況
1	相川地区林道又は作業道の新設について	・相川自治会より林業振興のため、参田林道に接続できる林道又は作業道の新設要望が出されている。	1.地域課題	低(5年以内)	・要望者及び農林課と現地確認済み ・新たな林道整備は困難であるため、作業道の整備手法について要望者へ説明し了承を得た。	5.実施済(完了)
2	相川地区へのJP系ATMの設置について	・震災により郵便局が無くなっており再建要望しているが難しい状況。地域住民から郵便局に変わるATMの設置要望が出されている。	1.地域課題	低(5年以内)	・日本郵便には要望を行ったが、「北上郵便局の利用状況や地区人口の動向などを注視し判断する」と回答されていることから、設置については難しい状況である。	3.対策協議中
3	県道北上津山線脇の排水路整備について	・排水不良による道路冠水がたびたび発生し支障を来しておりコンクリート製品による排水溝整備(現在は土側溝)の要望が出されている。	1.地域課題	高(1年以内)	・道路冠水は、皿貝川及び北上川の水位も影響しているため、コンクリート製品による排水溝整備を行っても効果が低い。 ・これまで同様、土側溝の堆積物除去を行うとともに、土地改良区管理の排水路、排水機場へ放流し、冠水時間を短縮する。	4.対策実施中
4	北上地区住民バスの運行路線変更について	・令和7年度から河北地区の住民バスがデマンド乗合タクシーへ移行したことに伴い、北上地区の要害・大上地区では住民バスが運行されておらず、地元行政委員から運行を求める要望が出されている。	1.地域課題	中(2-3年)	・北上地区の住民バスの路線変更等による対応が可能かどうか、現在、バス会社と協議・検討を進めている。 ・R8.4.1から北上地区住民バスの運行経路変更を行い、要害・大上地区の運行を開始した。	5.実施済(完了)

総合支所の抱える課題及びその対応経過 (令和8年4月1日現在)

【牡鹿総合支所】

【様式2】

No.	件名	地域課題の概要	課題の種類	対応の優先度	対応状況又は今後の対応方針	対応状況
1	人口減少に伴う課題について	<p>震災以降、沿岸部では人口減少、高齢化が進み、地域の担い手不足が起きている。</p> <p>(1) 消防団員、交通安全指導隊や、各種団体の構成の確保に苦慮している。</p> <p>(2) 行政委員に対しての依頼も多く、負担が増加している。</p> <p>各団体のあり方（構成員の人選）等について見直しが必要</p> <p>(3) 離島においては、人口減少・高齢化により、生活基盤や地域の活力が弱体化しており、生活基盤を支える体制や活性化策等の対策が必要</p>	1.地域課題	低（5年以内）	<p>・全庁的な取組が必要な案件であると考えているが、総合支所連絡会議執行部会には提案できない案件である。</p> <p>・牡鹿地区においては漁業後継者の確保も重要であることから、まずは、水産課所管の「水産業担い手センター事業」について希望地区に事業説明会をすることを区長会に説明済みであり、今後、希望する地区があった場合には順次説明会を実施していくことで水産課と協議済みである。</p> <p>・R8.3月現在、水産業の担い手事業に掛かる説明会を希望する地区はない状況にある。</p>	3.対策協議中
2	公共交通について	<p>牡鹿地区については、一般市民が必要とする際に頼めるタクシー業者がなく、高齢者等は家族の送迎、公共交通の利用により足を確保しているが、現在の公共交通の利便性をより高める必要がある。</p> <p>(1) どういった利用形態が必要とされるのか調査の上、利用実態に合った交通のあり方を見出す必要がある。</p> <p>(2) 現在の市民バスのバス停について、バス停表示がない場所等もあり、バス停の整備が必要であり、バス停の調査が必要であるが、人員不足により職員の調査が実施できていない。また、整備に係る予算も必要となる。</p> <p>(3) 金華山航路については、現在土曜日、祝祭日のみの定期運航であるが、今後、交流人口の拡大を図るためには、平日も含めた定期運行が必要である。</p>	1.地域課題	高（1年以内）	<p>(1) 市民からの要望に合わせて、随時市民バスのダイヤの見直しを行っている。</p> <p>R6.4月 高校通学者のためミヤコーバスとの接続便を増便</p> <p>R6.9月 放課後児童クラブ利用者のためダイヤ改正</p> <p>R7.10月 住民ニーズによる運行経路の見直し及びダイヤ改正</p> <p>R8年度 住民要望により定期券の対象拡大</p> <p>(2) バス停の整備：R5年度に直営で修繕完了</p> <p>(3) 金華山航路：R7年度から定期便増便支援事業として補助事業を開始</p>	5.実施済（完了）

総合支所の抱える課題及びその対応経過 (令和8年4月1日現在)

【牡鹿総合支所】

【様式2】

No.	件名	地域課題の概要	課題の種類	対応の優先度	対応状況又は今後の対応方針	対応状況
3	不快害虫（ヒル等）駆除	<p>ヒルによる吸血被害が増加し、住民から不快害虫駆除についての相談があるため、駆除薬等の配布の検討が必要である。</p> <p>また、観光施設におけるヒル対策も必要である。</p>	1.地域課題	高（1年以内）	<ul style="list-style-type: none"> <li>・本庁担当課である環境課とは協議済み。公衆衛生連合会の消毒事業（衛生環境維持のハエ、蚊等の発生防止）を変更しヒル対策とすることも検討したが、事業目的が違うため従来の消毒事業の内容を変更することはできないとの結論に至った。</li> <li>・消毒事業としての実施ができないため、使用薬剤の検討、実施形態等を継続し検討中である。</li> <li>・消毒事業として無料薬剤による実施ができないため、公衛連牡鹿支部とヒル用薬剤の有料販売に向け協議中である。</li> <li>・公費支出で行うヒル駆除薬の頒布（無料）ができず、協議を進めた結果、石巻市公衆衛生団体連合会牡鹿支部を窓口とする「害虫防除薬幹旋販売事業（有料）」を実施することで、不快害虫駆除の一助となるよう対策を講じる。</li> <li>・石巻市公衆衛生団体連合会牡鹿支部が窓口となり、薬剤の幹旋販売事業（有料）を開始した。</li> </ul>	5.実施済（完了）

総合支所の抱える課題及びその対応経過 (令和8年4月1日現在)

【牡鹿総合支所】

【様式2】

No.	件名	地域課題の概要	課題の種類	対応の優先度	対応状況又は今後の対応方針	対応状況
4	民生委員の欠員	現在、牡鹿地区の民生委員の欠員地区は6地区、主任児童委員1名の欠員となっているが、3地区（大原、谷川、大谷川）が住民基本台帳上の世帯数50世帯以下で、そのうち2地区（谷川、大谷川）が20世帯以下である。欠員地区と隣接地区の掛け持ちについても距離的な問題や地域事情もあり、欠員の解消が困難な状況となっている。	1.地域課題	中（2-3年）	<ul style="list-style-type: none"> <li>・欠員となっていた主任児童委員については、R6.2月に就任し欠員を補充できたが、民生委員の欠員地区について、全ての解消には至っておらず、引き続き行政区長や社協等関係団体と連携しながら欠員地区の解消に努めている。</li> <li>・牡鹿地区の民生委員の欠員地区は、住民基本台帳上の世帯数50世帯以下の地区であり、全ての解消には至っていない。</li> <li>・R7.12月に民生委員・児童委員の一斉改選が行われたが、欠員地区の解消には至っておらず、引き続き行政区長や社協等関係団体と連携しながら欠員地区の解消に努めている。</li> </ul> <p>【現在の欠員地区】 鮎川第3・4、小淵、谷川、大谷川 ※欠員地区のうち谷川、大谷川は住民基本台帳上の世帯数が20世帯以下であり、解消は困難である。</p>	2.対応検討中
5	保健推進員の欠員	現在、牡鹿地区の保健推進員の欠員地区は20行政区のうち8行政区（小網倉、小淵、長渡根組、谷川、大谷川、泊、鮫浦、前網）が欠員となっているが、地域の人口減少や年齢構成などを理由に候補者の推薦が厳しい行政区が多い状況である。保健推進員制度や保健思想・健康増進に対する住民意識の向上を図り、欠員地区の解消に努めている。（職務の重要性や選定が難しいとの声をいただいている。）	1.地域課題	中（2-3年）	<ul style="list-style-type: none"> <li>・欠員地区のうち1地区については、R5.8月に就任しているが、保健推進員の欠員地区について、全ての解消には至っておらず、引き続き行政区長や社協等関係団体と連携しながら欠員地区の解消に努めている。</li> <li>・R7.4月に保健推進員の一斉改選が行われたが、欠員地区の解消には至っておらず、引き続き行政区長や社協等関係団体と連携しながら欠員地区の解消に努めている。</li> </ul> <p>【現在の欠員地区】 小淵、小網倉、谷川、大谷川、鮫浦、前網</p>	2.対応検討中

総合支所の抱える課題及びその対応経過 (令和8年4月1日現在)

【牡鹿総合支所】

【様式2】

No.	件名	地域課題の概要	課題の種類	対応の優先度	対応状況又は今後の対応方針	対応状況
6	健康づくりパークの維持管理と利用促進	令和4年9月に開園した施設の適正な維持管理に努め、牡鹿公民館や他の類似施設と連携して利用者増を図る必要がある。牡鹿地区は集落が点在し距離が離れているため、気軽に利用したいが施設まで移動手段が無いために利用できないとの高齢者からの声もある。	1.地域課題	低(5年以内)	<ul style="list-style-type: none"> <li>・R7.1.1から試行期間として、パークゴルフでの使用者がいないときには、他の用途(ウォーキング、ドックラン、フットサル等)の利用も可能としている。住民周知は、市HPへの掲載、ライオン歯ブラシ配布時等のイベントや社協等の関係団体、民生委員等に周知チラシを配布した。また、令和7年度牡鹿地区行政区長連絡協議会総会で区長に説明を行い、牡鹿地区住民に全戸配布チラシで周知した。</li> <li>・R7年度は公民館事業として、5月にパークゴルフ体験会を開催しており、16名(定員20名)が参加。10月に区長会と共催でパークゴルフ大会を開催し、13名(定員24名)が参加。また、R8年度も市民福祉課の事業としてパークゴルフ教室兼大会を実施する予定。</li> <li>・利用者に迷惑を及ぼさない球技等の利用やペットの入場など、パークゴルフ以外の利活用も施設の利用促進のため、R7年1月から多目的に使用できるよう施設を開放しており、現在はフットサルで頻繁に使用されている。</li> <li>・パークゴルフ大会やそれ以外の利活用など、気軽に利用してもらえるよう引き続き周知に努める。</li> </ul>	3.対策協議中